

## 花粉管の観察 ～その魅力と教材化の可能性～

日時 2023年6月17日（土）午後1時30分～4時30分

会場 名古屋市立向陽高等学校（名古屋市昭和区広池町47）

話題提供者 伊藤政夫氏（名古屋市立向陽高等学校 教諭）

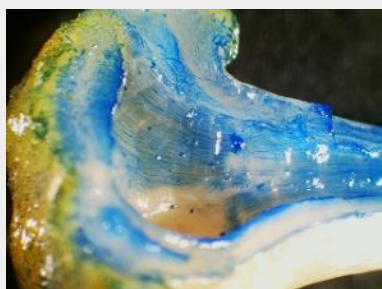
### 趣旨説明

2023年度から、新学習指導要領下での4単位「生物」の学習が始まり、これまで「生殖と発生」で取り上げられてきた「植物の配偶子形成と受精」は、「植物の環境応答」での扱いとなりました。「花粉管」を扱っている教科書はこれまで同様に2社のみですが、花粉の発芽・花粉管の伸長の観察は手軽に実施できるだけでなく、いろいろなアプローチの仕方で、生徒たちが興味・関心をもって取り組める題材を含んでいます。

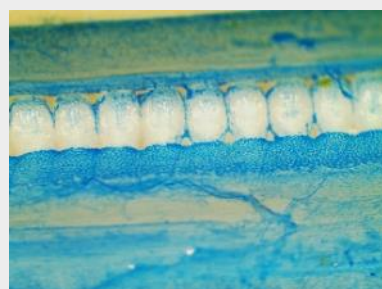
長年、生徒たちとユリを題材に花粉管の研究に取り組み、学生科学賞など多くの受賞者を輩出されてきた伊藤先生にお話をいただいた後、参加者みんなで「花粉管の観察」を楽しみながら、その教材化の可能性について議論ができればと思います。



シンテッポウユリ



柱頭部内部の花粉管



子房内部の花粉管

（写真はいずれも伊藤政夫さん提供）

※ 参加費(資料代) 500円

※ 申込方法 グーグルフォームからお願いします。

<https://forms.gle/A9oMSBzjs7rNE6h66>



※申込締切 6月10日(土)

※ 問い合わせ先：生物教育研究所 [info@tibe.sakura.ne.jp](mailto:info@tibe.sakura.ne.jp)

連絡先電話番号：090-5367-9778

（中道貞子 生物教育研究所研究員）

※意見交換会について

17時30分頃から、地下鉄桜山駅近くで意見交換会を開催します。

会費は 5,000円程度。議論しきれなかったことについてワイワイ話し合いができればと思います。こちらも、上記グーグルフォームでお申し込みください。

### 会場までの交通アクセス



#### ■地下鉄

- ・桜通線桜山駅下車、徒歩8分
- ・鶴舞線荒畑駅下車、徒歩12分

#### ■バス

- ①滝子 ②広見町 ③恵方町
- いずれかで下車、徒歩8分

#### 【注】生物教育研究所について

生物教育に関わるさまざまな活動を続けている生物教育者（主として、フルタイム勤務を終えた者）で構成されている研究機関。

研究員は、それぞれが関心のあるテーマについて研究活動や啓蒙活動を行っている。

所長：片山舒康(東京学芸大学名誉教授) HP <https://tibe.sakura.ne.jp/index.html>